

町の発展と住民生活の向上を常に念頭に、住民が安心して暮らすことのできるよう魅力ある「まち」に向け、公平・公正な町政運営を

新 年あけましておめでとうござい
ます。皆様には希望に満ちた健
やかな新春をお迎えになったことお
慶び申し上げます。

昨年は2020年の夏季オリンピックの開催地が東京に決定され、6年後の開催に向け私たち一般の人間も日本人として非常にうれしく誇りに感じています。ましてや競技をされている青少年には、オリンピック出場という夢に向かって大きな希望を抱いていらっしゃる方々がたくさんいらっしゃると思います。

一方、地球環境の変化、温暖化、それに伴う気候変動の影響もあって各地で酷暑や集中豪雨による災害が発生し、甚大な被害が起っています。また東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故による影響もまだ収束には向かっていません。年末から使用済みの核燃料取り出し作業が始まり、これから廃

炉に向け何十年という長い年月を経ていかねばなりません。いずれにしても起こった現実には厳しい試練と受け止め、冷静に対処していかねばなりません。

このような中、本町におきましては限られた財源の中で、町民の皆様が何を願い、何を求めているか、地域を的確に捉え本町の特性を活かした地域づくりの方向性や目標を明確にしていかなければなりません。全国的に急進する少子化、本格的な長寿社会の到来、厳しい財政状況ではありますが、20年30年先の田原本町の将来像を的確に捉え、今すべきことを着実に進めていかねばなりません。同時に明日を担う子ども達への教育の充実、発生が予測される大地震に対する防災体制の強化をはじめ住民の安全・安心な暮らしの確保、健康づくりと福祉の充実など今ある住民の要望と時代の要請に的確にこたえていかねばなりません。

このことを踏まえ、財政基盤の自立を図るとともに効率的、計画的な町政運営を推進し、引き続き田原本町西側の再開発ビルの建設、東側についてもどのような開発が適当か駅周辺の「まちづくり」に向け総合的に協議、国史跡「唐古・鍵遺跡」の史跡公園整備、隣接地への「交流促進施設」建設、京奈和自動車道田原本インター周辺地区の社会資本整備と企業誘致、新清掃工場の建設整備、学校教育体制の充実や地域防災体制の構築など「第三次田原本町総合計画」の具体的な施策を積極的に進めてまいりたいと考えています。

これら以外にも今年度中に笠縫駅東側の整備、待機児童解消のため宮古保育園の新設拡充など取り組むべき課題は山積しています。

今後地方分権の推進、急激な少子化、本格的な長寿社会、住民意識・生活様式の多様化など取り巻く環境が大きく

変化する中、時代の要請に応じた行政活動を行うためには行政の在り方・役割分担を考え、自立した財政基盤の確保を図るとともに、簡素で効率的・効果的で持続可能な町政運営に取り組まねばなりません。同時に田原本の明日を担う子供に負担を先送りすることなく、住民のニーズに合わせた対応、住民満足度の向上など地域の様々な課題を自主的・主体的に解決してまいります。地方を取り巻く環境は先行き不透明ではありますが、本町の発展と住民生活の向上を常に念頭に置き、住民が安心して暮らすことのできるよう魅力ある「まち」に向け職員共々、公平・公正な町政運営に取り組んでまいりますので、さらなるご理解ご協力を賜われますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして健康で幸多き年でありまことをご祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。



田原本町長
寺田 典弘

あ

けましておめでとうございます。
町民の皆様には、平素より町議会の活動に対し、温かいご指導・ご理解を賜り厚くお礼を申し上げます。昨年9月執行の町議会議員選挙において、新たに14名の議会議員が誕生しました。町民の皆様の思いをしっかりと受け止め、その負託に応えるべく全力で取り組んで参る所存でございます。

さて、記録的な猛暑となった昨年を振り返りますと、度重なる「秋台風」が伊豆大島などに大規模な土砂災害をもたらし、また、各地ですさまじい破壊力を持った竜巻による被害も発生しました。こうした自然の脅威の前では人間は無力であることを認識させられたと同時に、地域に暮らす皆様が安全で安心して生活できるよう、早急な安全対策と日頃からの備えの必要性を痛感したところであります。

一方、わが国の経済に目を向けます

と、「金融政策」「財政出動」「成長戦略」の3本の矢の政策を強力に推進する「アベノミクス」効果で景気は回復傾向にあると報道されています。しかし、景気の自立的な回復には民間投資を喚起する成長戦略の確実な実行と成長の成果が必要とされ、景気回復、経済成長を着実に進めることで、家計所得や雇用、消費の拡大につながる好循環の実現が期待されているところです。

そのような社会経済状況の中、本町を取り巻く環境は、少子高齢化、地方分権の進展など、ますます複雑化しています。また、住民ニーズも多様化する中で、徹底した行財政改革の実施と、限られた財源を有効活用し、これまで以上に効率的・効果的なまちづくりを進めて行く必要があると考えています。町議会でも引き続き議会活動の充実を図っていくことはもとより、議員定数を2名削減し、スリム化も図ったと

ころでございます。

本町では、町の将来像である「自然と歴史・文化が育む新しい生活拠点たわらもと」の実現に向け、町民の皆様のご理解のもと、幅広いまちづくり事業が推進されています。特に、保育環境の充実と保育需要に対応するため、町の助成を受けて建替が進められている宮古保育園は、本年度中に新しい園舎が完成し、小・中学校の耐震補強については、改修が必要な学校施設の補強工事が、平成27年度までにすべて完了するよう計画的に進められています。また、平成29年度の完成に向け事業が進められている唐古・鍵遺跡史跡公園整備事業については、本年度で造成工事が完了し、新年度から具体的・本格的な公園整備が始まる予定で、魅力ある史跡公園をめざし、議会としても積極的な提案を行って参ります。

次に、新清掃工場の建設については、

2市1町で組織するやまと広域環境衛生事務組合で平成28年度末の完成に向け事業が進められており、持込ごみなごに対応するための町内の中継施設についても、平成27年9月を目途に町が建設を行う計画で、特別委員会で事業の進捗に合わせ検討を重ねて参ります。本年も具体的に検討中のこれら事業はもとより、田原本駅周辺の活性化対策をはじめ、町政が抱える多くの課題解決のため、二元代表制の一翼を担う町議会として、社会経済状況や制度改革などの動向も注視しながら、住民を代表する「意思決定機関」としての機能を十二分に果たして参りたいと存じます。皆様の更なるご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

年頭に当たり、今年が皆様方にとって良い年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

町政が抱える多くの課題解決のため、
住民を代表する「意思決定機関」
としての機能を十二分に果たして参ります



田原本町議会議長
辻 一夫